



ふるかわ医院の感染対策について

2025年6月20日に、京都山城総合医療センター感染防止対策室のお医者さんと感染管理認定看護師さんに、ふるかわ医院の感染対策について、指導と助言を受けました。

待合室について



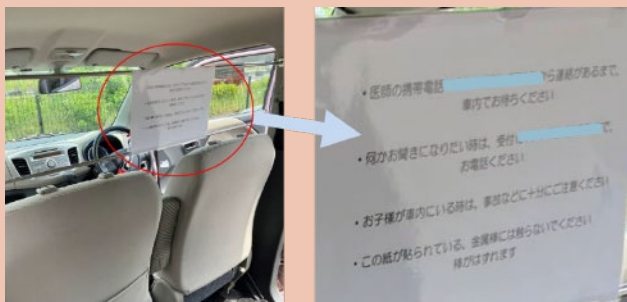
- 待合室の天井が高く、スペースも広くとられており換気状態は全く問題がありませんでした。
- 常設されている換気扇に加え、強力換気扇を2台増設され、待合室の換気状態は万全に万全を期している印象を受けました。
- さらにフクダ電子のAirculaterも設置されており、来院される患者様の安心感にもなっていたように思います。
- 待合室のCO₂は561ppmであり、問題ありませんでした。

発熱など感染対策が必要な患者さんの動線



- 一般患者さんのルートと発熱患者さんのルートがわけられており、一般患者さんへの感染リスクを軽減する対応が実施されていました。
- 感染疑いルートから入ると左右に別部屋が用意されており、複数の感染症疑い患者さんの診察ができるようになっていました。各診察室には換気扇がついていました。
- 院長はじめ看護師さんの換気への意識も高く、可能な限り、窓などを開けるなど空調の調整をされていました。

歩行や自転車であられた感染疑いの患者さんの待機場所



- 歩行や自転車であられた感染疑いの患者さんの待機場所として、病院の車を提供しておられました。なかなかここまで準備されている医院はないと思います。すばらしい対応をされていると感動いたしました。

トイレ



- 下痢患者さんが使用した後の清掃はハイター（濃度0.1%）での清拭後、アルコールで仕上げ拭きをしてください。

診察室



- 診察室は少し狭い印象を受けました。プライバシーが守れる状況であれば可能な部分のみでも構いませんので、扉などを開放していただくほうが良いかと思います。

全体的には、感染対策はほぼできているようです。
そして足りない点は、これらの助言を参考にして感染対策に取り組んでいきます。